


第19回高知市総合教育会議資料

# 学力向上対策

「子供たちの力を最大限に引き出すための  
デジタルを活用した教育の充実」

高知市教育委員会学校教育課  
令和6年2月13日(火)

- 
- 国の学校教育に関する動向
  - 高知市の現状
  - 成果と課題
  - 今後の取組

# 国の学校教育に関する動向

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して  
～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申)【抜粋】

令和3年4月28日  
第123回教育課程部会  
資料 3 - 2

## 第I部 総論

令和3年1月26日  
中央教育審議会

### 1. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

- 社会の在り方が劇的に変わる「Society5.0時代」の到来
- 新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明な「予測困難な時代」

新学習指導要領の着実な実施

ICTの活用

一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要

### 2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて

#### 成果

- 学校が学習指導のみならず、生徒指導の面でも主要な役割を担い、児童生徒の状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで、子供たちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」は、諸外国から高い評価
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、全国的に学校の臨時休業措置が取られたことにより再認識された学校の役割  
①学習機会と学力の保障 ②全人的な発達・成長の保障 ③身体的、精神的な健康の保障（安全・安心につながるができる居場所・セーフティネット）

#### 課題

子供たちの意欲・関心・学習習慣等や、高い意欲や能力をもった教師やそれを支える職員の力により成果を挙げる一方、変化する社会の中で以下の課題に直面

- 本来であれば家庭や地域でなすべきことまでが学校に委ねられることになり、結果として学校及び教師が担うべき業務の範囲が拡大され、その負担が増大
- 子供たちの多様化（特別支援教育を受ける児童生徒や外国人児童生徒等の増加、貧困、いじめの重大事態や不登校児童生徒数の増加等）
- 生徒の学習意欲の低下
- 教師の長時間勤務による疲弊や教員採用倍率の低下、教師不足の深刻化
- 学習場面におけるデジタルデバイスの使用が低調であるなど、加速度的に進展する情報化への対応の遅れ
- 少子高齢化、人口減少による学校教育の維持とその質の保証に向けた取組の必要性
- 新型コロナウイルス感染症の感染防止策と学校教育活動の両立、今後起こり得る新たな感染症への備えとしての教室環境や指導体制等の整備

教育振興基本計画の理念  
(自立・協働・創造)の継承

学校における  
働き方改革の推進

GIGAスクール構想の  
実現

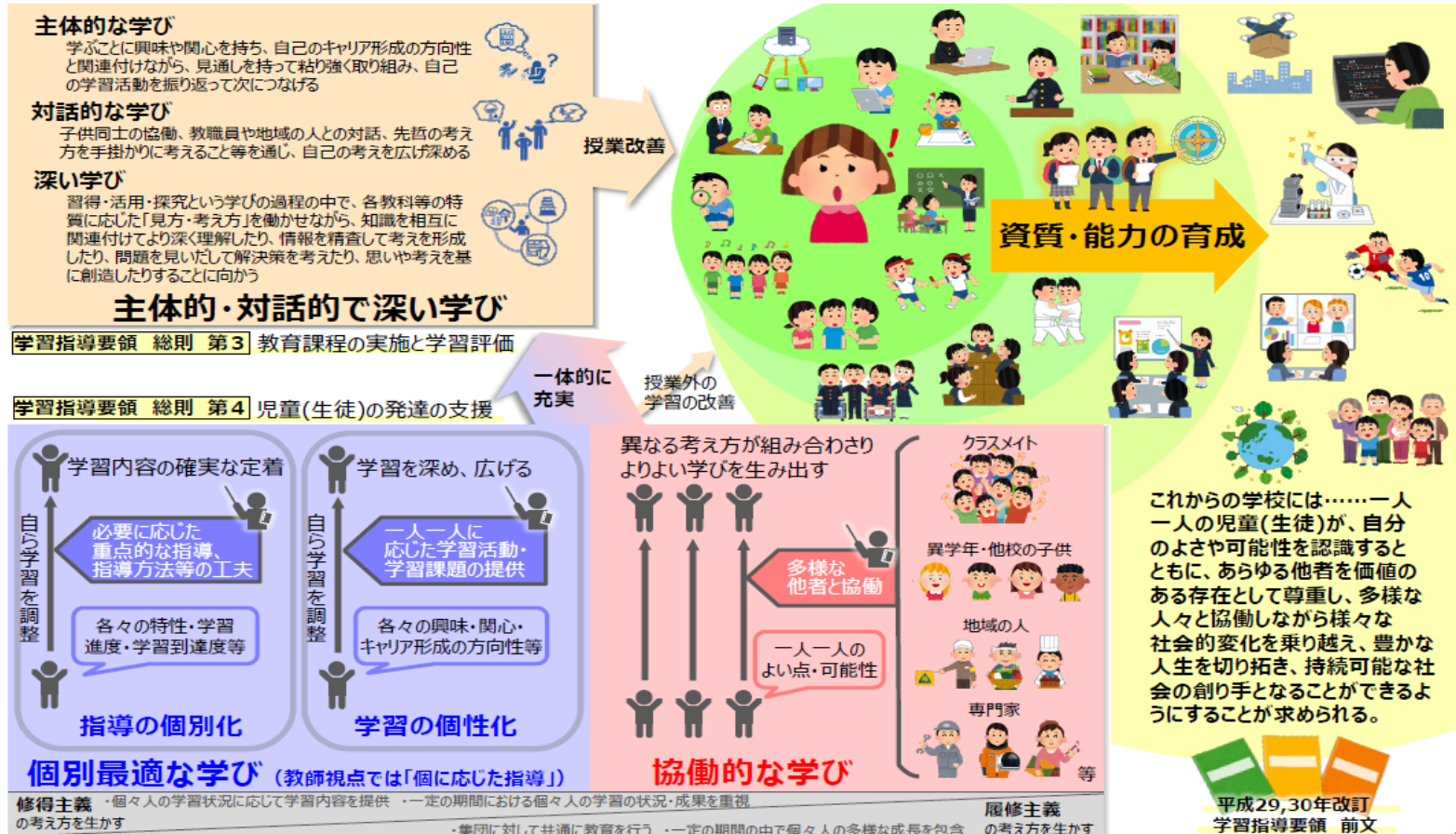
新学習指導要領の  
着実な実施

必要な改革を躊躇なく進めることで、従来の日本型学校教育を発展させ、「令和の日本型学校教育」を実現

# 国の学校教育に関する動向

## 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）

教育課程部会における審議のまとめ  
(令和3年1月25日) (参考資料)



※本資料は、「教育課程部会における審議のまとめ」(令和3年1月25日中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会)に基づき、概念を簡略化し図等として整理したものである。

# 国の学校教育に関する動向

## デジタルの力を活用した教育の方向性①

参考資料  
令和5年11月22日第二回デジタル  
行財政改革会議 文部科学省説明資料より



取組方針

一人一人の児童生徒が、  
いろんなコンテンツで、いろんな人から、自分らしく学べる教育の更なる推進に向けた教育環境を充実。

action  
01

### 一人一台端末の整備・活用

- 都道府県に基金を設置し、十分な予備機を含めて計画的で安定的な端末更新を可能に
- 都道府県内広域での共同調達を強力に推進
- 端末更新時の補助要件として日常的な利活用を設定し、都道府県による共同研修の実施など自治体間格差のない活用を促進
- 学校のネットワークアセスメントを実施し、自治体間格差のない通信環境を実現

一人一台端末の整備・活用により、  
デジタルを活用した多様な学びを更に促進

action  
02

### オンライン教育の推進

<義務教育段階>

- 中学校の遠隔教育特例校制度の見直し

<高等学校段階>

- 高校生の多様な学習ニーズに応える遠隔授業  
配信センターの自治体設置を促進

<やむを得ず通学できない場合>

- 不登校児童生徒、病気療養児への支援

action  
03

### デジタル教材の整備・活用

- 子供たちが一人一台端末から、様々なデジタル教材の使用を簡単・便利に
  - ー 学校や家庭において学習やアセスメントができるCBTシステム  
(MEXCBT：メクビット)の機能拡充
  - ー デジタル教材の活用における学びの利便性向上やデータ利活用推進のための  
仕組みを構築（共通規格の整備など）
  - ー 部活動・地域クラブ活動に関するデジタル動画の活用
- 実社会や実生活における課題の発見・解決を行う探究学習や、自由進度学習  
等の促進

- \* こうした取組を進めるに当たっては、児童生徒等と教師等、児童生徒等同士が直接触れ合うことが基本であること、  
教育現場のICT化は教師数の合理化を目的として行われるものではないことを踏まえる必要。
- \* 特に義務教育段階においては教師が一人一人に寄り添ってきめ細かな支援を行うことが必要。
- \* 以上を踏まえ、質の高い教育と児童生徒の安全・安心の確保を前提に、学校現場の創意工夫が十分に発揮されるよう、  
学校現場を後押しすることが重要。

# 国の学校教育に関する動向

## デジタルの力を活用した教育の方向性②

参考資料  
令和5年11月22日第二回デジタル  
行財政改革会議 文部科学省説明資料より

### action 04 次世代の校務支援システムの整備・活用（※学校の働き方改革にも寄与）

- 次世代の校務支援システムの開発・実証（校務システムのクラウド化、学習系とのネットワーク統合、ダッシュボード実装等）
  - 都道府県域内でのシステム、帳票、手続きのばらつきを可視化し、デジタル化及び標準化を強力に推進
  - 上記の取組を行い、都道府県内広域での共同調達を推進
- ※このほか、教育委員会から学校への文書送付のデジタル化を強力に推進

### action 05 デジタル人材の育成拠点の整備・活用

- 情報Ⅱの開設や探究学習の強化を図るために高校のDX化（情報、数学等の教育を重視したカリキュラムの実施、必要なICT環境の整備）を全国的に推進
- デジタル人材をはじめとした専門人材の登用促進に向けた特別免許状等の活用拡大

## Action 1～5の取組を通じて、子供起点の個別最適な学びと協働的な学びの一層の推進

### 時間・場所等による制約

- ✓全員が同時に同じ内容を学習
- ✓意見を発表する子供が限られる
- ✓授業が分かり過ぎる子、分からないけど黙っている子
- ✓子供の理解度がすぐには分からない
- ✓教師が紙の教材を準備
- ✓同じ教室の仲間、同じ教師



これまでの  
教育実践の蓄積  
×  
デジタルの力

### デジタルを活用したこれからの学び

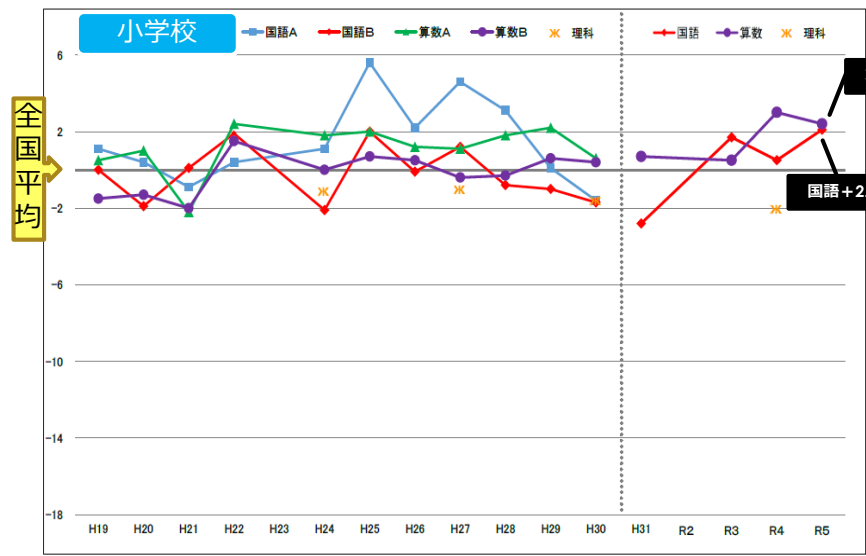
- ✓1人1人の学習進度に応じた学び
- ✓各自の考えをすぐに共有、多様な意見に触れられる
- ✓深く学ぶ、振り返って学ぶ。みんなに出番がある
- ✓教師による子供の見取りが可視化
- ✓学びたいコンテンツに便利にアクセスできる
- ✓離れていても一緒に学べる、すごい人からも学べる



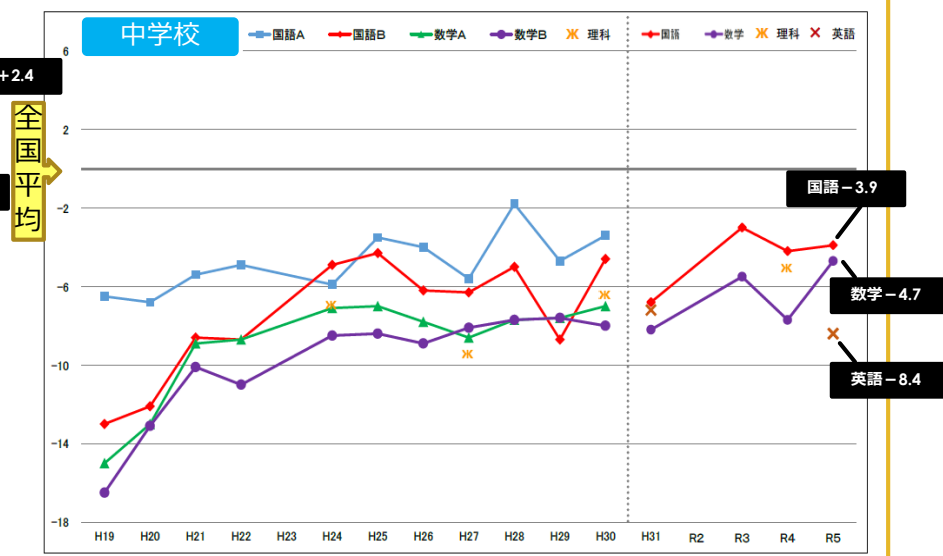
# 高知市の現状

～自立した学習者の育成を目指して～

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果H19～R4における高知市平均と全国平均正答率との差の推移



|    | H19 | H20  | H21  | H22  | H23 | H24  | H25  | H26 | H27  | H28  | H29  | H30  | H31  | R2   | R3 | R4  | R5  |      |
|----|-----|------|------|------|-----|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|----|-----|-----|------|
| 国語 | A   | 1.1  | 0.4  | -0.9 | 0.4 |      | 1.1  | 5.6 | 2.2  | 4.6  | 3.1  | 0.1  | -1.6 | -2.8 |    | 1.7 | 0.5 | 2.1  |
|    | B   | 0.0  | -1.9 | 0.1  | 1.9 |      | -2.1 | 2.0 | -0.1 | 1.2  | -0.8 | -1.0 | -1.7 |      |    |     |     |      |
| 算数 | A   | 0.5  | 1.0  | -2.2 | 2.4 |      | 1.8  | 2.0 | 1.2  | 1.1  | 1.8  | 2.2  | 0.6  | 0.7  |    | 0.5 | 3.0 | 2.4  |
|    | B   | -1.5 | -1.3 | -2.0 | 1.5 |      | 0.0  | 0.7 | 0.5  | -0.4 | -0.3 | 0.6  | 0.4  |      |    |     |     |      |
| 理科 |     |      |      |      |     | -1.1 |      |     |      | -1.0 |      |      | -1.6 |      |    |     |     | -2.0 |



|    | H19 | H20   | H21   | H22   | H23   | H24 | H25  | H26  | H27  | H28  | H29  | H30  | H31  | R2   | R3 | R4   | R5   |      |
|----|-----|-------|-------|-------|-------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|----|------|------|------|
| 国語 | A   | -6.5  | -6.8  | -5.4  | -4.9  |     | -5.9 | -3.5 | -4.0 | -5.6 | -1.8 | -4.7 | -3.4 | -6.8 |    | -3.0 | -4.2 | -3.9 |
|    | B   | -13.0 | -12.1 | -8.6  | -8.7  |     | -4.9 | -4.3 | -6.2 | -6.3 | -5.0 | -8.7 | -4.6 |      |    |      |      |      |
| 数学 | A   | -15.0 | -13.0 | -8.9  | -8.7  |     | -7.1 | -7.0 | -7.8 | -8.6 | -7.7 | -7.6 | -7.0 | -8.2 |    | -5.5 | -7.7 | -4.7 |
|    | B   | -16.5 | -13.1 | -10.1 | -11.0 |     | -8.5 | -8.4 | -8.9 | -8.1 | -7.7 | -7.6 | -8.0 |      |    |      |      |      |
| 理科 |     |       |       |       |       |     | -6.9 |      |      | -9.4 |      |      |      |      |    |      |      |      |
| 英語 |     |       |       |       |       |     |      |      |      |      |      |      | -7.2 |      |    |      |      | -8.4 |

- ・小学校においては、国語と算数で全国平均を上回っている。特に国語においては、昨年度の全国平均正答率との差より1.6ポイント上回っている。
- ・中学校においては、国語と数学で全国平均正答率との差を縮めている。特に、数学においては、昨年度の全国平均正答率との差を3.0ポイント縮めている。英語では、H31調査における全国平均正答率との差より1.2ポイント開いている。

# 高知市の現状

～自立した学習者の育成を目指して～

<令和5年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査>より

- ①「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う」と回答した児童生徒  
(肯定的に回答した割合) R5 小学校：76.0% (78.8%) , 中学校：80.0% (79.2%) ※ ( ) 内は全国平均
- ②「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童生徒  
(肯定的に回答した割合) R5 小学校：78.0% (81.8%) , 中学校：79.7% (79.7%) ※ ( ) 内は全国平均
- ③「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日), 1日当たり全く勉強しない」と回答した児童生徒  
R5 小学校7.2% (4.6%) , 中学校：11.6% (6.0%) ※ ( ) 内は全国平均
- ④「家で自分で計画を立てて勉強をしている(学校の授業の予習や復習を含む)」と回答した児童  
(肯定的に回答した割合) R5 小学校：66.2% (70.7%) , 中学校：52.2% (55.0%) ※ ( ) 内は全国平均

- ①,② 主体的に学びに向かい, 他の人と協働して課題を解決できる。
- ③,④ 一人一人が自分に合ったやり方を選び, 自分に必要な学びを自分でつくれる。



# 高知市の現状

～自立した学習者の育成を目指して～

すべての子供たちに確実な資質・能力の育成

授業改善  
主体的・対話的で深い学び

一体的  
に充実  
個別最適な学び  
協働的な学び

デジタル  
の活用

学習指導要領の着実な実施

## 【活用例】



新しいALTに向けてビデオレターを撮影している様子

英語



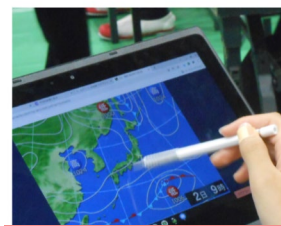
課題解決に向けて必要な情報を取捨選択している様子

社会



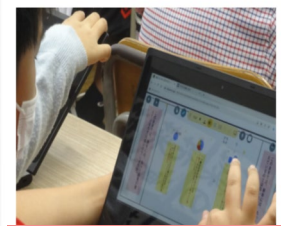
図形作成ツールを活用して考察している様子

数学



データを活用して考察している様子

理科



提示する資料の順番を考察している様子

国語

## 育成を目指す資質・能力

- ・ 社会的事象の意味や意義，相互の関連を現代の社会生活と関連付けて，多面的・多角的に考察する力。
- ・ 現代社会に見られる課題を把握して，よりよい社会の構築に向けて，複数の立場や意見を踏まえて根拠に基づき公正に判断する力。

## デジタルの活用のポイント

- ・ 各時間で使用した情報（資料）や追究してきた内容をロイロノート（通常ノート）にまとめておくことで，既習事項と関連付けて考察する。
- ・ ロイロノート（共有ノート）を使用し，構想した内容について互いに助言し合い，構想の妥当性や実現の可能性を考える。

### 【第1時】

・ 社会の変化と人々の生活に着目して，未来の社会に見られる人権課題について，見通しをもつ。

### 【第2～4時】

・ 基本的人権の意味や意義，構成について整理し，現代の課題について把握する。…①

### 【第5～7時】

・ 権利の対立による問題や問題解決のための手立てについて追究する。…②

### 【第8時】

・ 今後の社会において，必要な権利について構想する。…③  
・ 共有ノートを活用し，助言し合う。…④

### 【第9時】

・ 助言したことを基に，修正した構想を全体で共有し，単元の振り返りをする。

## 事例の概要

- ① 日本国憲法で保障されている基本的人権の意味や身の回りの事例について調べたことを整理し，社会に見られる課題について自分の考えをまとめる。
- ② 権利と権利が対立するような事例を基に，よりよい合意に至るためにどうしたらよいか追究し，自分の意見をまとめ，議論する。また，人権保障をより確かにするための権利（参政権や請求権）について調べて整理する。
- ③ 現代社会の特色や想定される社会の変化を基に，今後の社会において必要となる権利について，これまでのロイロノート等に整理してきたものを基に，構想する。
- ④ 各自が構想したことを基に，対立と合意，効率と公正に着目して，考えた内容が妥当かどうか，また実現可能かどうかを共有ノートを使って，議論する。

## 【事例におけるデジタルの活用の場面①】

毎時間学んだことをまとめたカード

課題解決に向けて必要な情報を取捨選択している様子

### ○学習過程と事例におけるデジタルの活用の場面との関係

#### 【既習事項を取捨選択・関連付けて考察する】 デジタルの活用の場面①

・ 毎時間追究してきた基本的人権に関する身の回りの事例や人権保障における政治の役割等について、収集した情報（資料）や自分の考えをロイロノート（通常ノート）にまとめることで、課題解決の際に必要な既習事項を取捨選択し、関連付けて考察する。

#### 【他者の助言を基に構想したことを再考する】 デジタル活用の場面②

・ グループでロイロノート（共有ノート）を使用し、互いの助言を共有することで、個人で考察したり、構想したりしたことを再考する。

### ○デジタルを効果的に活用するためのポイント

- ・ 基本的人権の意味や意義、課題について学習したことをすぐに振り返ることができるようにする。
- ・ 個人で構想したことについて、互いに助言し合うことで、多様な視点を取り入れることができるようにする。

## 【事例におけるデジタルの活用の場面②】

自分の考え  
少子高齢化の状況で年金も寄りの方で必要になる便利えてくと思うからお年寄りの方に支援したり機械の値段を安くするなどしてもっと安心して生活できる権利があると思った。新しい権利が増える中でも今までの権利もさらに時代にあわせて変化していくとよくなると感じた。

再構

友達からもらった助言  
アドバイスカード  
少子高齢化に着手して安心や安全を追求していいと思いました。  
時代を重ねるにつれて機械も進歩して支援する額も増えるのでどうすべきか考えなければいけないかもしれないとおもいました。

### ○デジタルの活用のメリット

#### <生徒にとってのメリット>

- ・ 現代社会における課題を把握するために必要な様々な資料が、ロイロノート内に蓄積されるとともに、そこから考察したことをいつでも取り出して関連付けて考えることができる。
- ・ 自分の考えに対する、複数の友達からの助言を同時に見ることができる。

#### <教師にとってのメリット>

- ・ 課題解決に向けて、生徒が社会的な見方・考え方を働かせているかを見取り、学習改善につながる評価を行うことができる。
- ・ 単元を通して生徒の定着状況を見取り、指導改善の手立てに生かすことができる。

## 育成を目指す資質・能力

高知市内の交流校の小学生や先生に、BAL祭りに行ってみたいと思ってもらえるように、祭りについて伝えたいことを整理しながら自分の思いを発表する。

## デジタルの活用のポイント

聞き手にBAL祭りについて行ってみたいと思ってもらえるように、他領域の授業でロイロノートを用いて作成した祭りのポスターを活用しながら、祭りについて発表する。

① グッドモデル動画の視聴、  
発話内容の再考

② ペアでお互いに発表

③ 参観者に発表

④ 発表内容の再考、音声  
録音、振り返り

## 事例の概要

### ○グッドモデル動画の視聴、発表内容の再考

前時に児童が提出した発表動画(ロイロノート)の中から、グッドモデルを提示する。全体で動画を視聴後、ALTが内容面と言語面からフィードバックをする。その後、児童は前時に撮影した自分の動画を観ながら発表内容を再考する。

### ○ペアでお互いに発表

総合的な学習の時間の際にロイロノートで作成した祭りのポスターを活用して、ペアでお互いに発表→中間指導を通して発表内容を再考→再度ペアで発表し合う。

### ○参観者に発表

②で再考した内容をもとに、参観者に祭りのポスターを提示しながら発表する。

### ○ビデオレター作成、振り返り

新しく来たALTに向けて、祭りについてタブレットでビデオレターを作成、提出し、振り返りをする。

【事例におけるデジタルの活用場面①】



＜デジタルの活用場面①＞

前時に児童が提出した動画の中からグッドモデルを提示，全体で共有した後，ALTが内容面でのフィードバックを行う。また，他の児童の動画の発話内容から，間違いが多かった表現についてもALTが全体で確認した。児童はALTのフィードバックをもとに，前時に撮影した自分の動画を観ながら内容面と言語面の両面から発表内容を再考する。

＜デジタルの活用のメリット＞

・自分の動画を観てグッドモデルと自分の発表内容を比較したり，表現の正しさについて自分で確認したりすることによって，自らの学びを調整することが可能となる。教師は児童の動画を確認することで，どの文構造や表現につまづいているのかを把握しやすくなる。

【事例におけるデジタル活用の場面②】



＜デジタルの活用場面②＞

参観者への発表後，児童は新しく来たALTに向けてビデオレターをロイロノートで撮影，提出する。ALTに興味を持って聞いてもらえるように，祭りのチラシ（自作）を見せたり，ALTに問いかけたりしながら発表内容を工夫する。

＜デジタルの活用のメリット＞

・毎時間，動画をはじめとするデータを継続的に蓄積することで，児童が前時の自分の発表内容と比較して，どのような表現が増えたか，正しく言うことができるようになった表現は何かなど，自らの学びの伸びを実感しやすくなる。また，教師は児童の学習の様子を可視化でき，個に応じた指導がしやすくなる。

# 成果と課題

## ～デジタルの活用について～

- 1人1台端末を用いることで、子供の「主体的な学び」を支援できるという教師の理解が深まってきた。
- 子供が「探究的な学び」に向かう問題解決型の授業の推進が図られてきた。
- AI型デジタルドリル（Qubend）を活用することで、授業改善に寄与するとともに基礎・基本の学力の定着に効果が見られた。
- デジタルの活用に、学校間格差、教師間格差があり、どのように解消していくか。
- 授業において、子供が自己調整を図りながら自己の学びを構築していける「単元づくり」をいかに推進していくか。
- 各校において、授業と家庭学習の接続・往還をいかに図っていくか。

## ～令和6年度に向けて～

### 令和5年度 学力向上対策

高知市教育委員会学校教育課  
令和5年4月1日作成

#### 持続可能な授業研究 体制の構築に向けて

みんなで学ぶ みんなで高める  
高知の子供たちの未来のために

#### 1 学校経営計画に基づく訪問

★学校経営計画に基づく組織的な学校運営に対する指導・助言。

全小・中・義務教育学校

◇学力向上推進員による訪問：年4回



学力向上統括スーパーバイザーによる学校訪問  
全小・中・義務教育学校（学期に1回）

#### 校長会との連携

学力向上に向けての学習会の実施

#### 教育研究所との連携

年次研修、ICT教育等における連携

#### 高知市教育研究会との連携

課題改善に向けた組織的な連携

#### 2 初任者育成に向けての指導訪問

★若年教員育成への組織体制づくりへの指導・助言

初任者配置校 ◇学力向上推進員による訪問：年5回

#### 【小・義務教育学校前期】

#### 4 持続可能な研究体制づくり

★令和5年度 小学校における持続可能な研究体制づくりを目指す研究指定校事業

◇学力向上推進員、指導主事等による訪問

指定校（8校）

横浜小、長浜小、朝倉第二小、介良瀬見台小、横内小、三里小、鴨田小、春野東小

新規

#### 3 組織力向上推進事業

★小学校における組織的な授業研究体制づくりに向けた指導・助言

★中学校の主幹教諭、教科主任の指導力向上及び人材育成についての指導・助言 【「タデ持ち」型】16校

★教科の枠を越えたチーム会の活性化。

【「教科間連携」型】3校 鏡中、行川学園、土佐山学舎

◇学力向上推進員、指導主事等による訪問

★組織力向上エキスパート訪問（年間2回）

★高知市主幹教諭連絡会（年間2回）

→高知県主幹教諭連絡協議会（年2回）

●中学校授業実践力向上研修会 国語（6/5）、数学（5/29）

#### 【中・義務教育学校後期】

#### 5 学力向上に向けた体制づくり

★令和5年度 資質・能力を育む「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す授業研究指定校事業

◇学力向上推進員、指導主事等による訪問

指定校（3校）

城東中、朝倉中、三里中

新規

#### 8 小中の学びをつなぐ スキルアップ講座

★義務教育9年間を見通した体系的な学習指導の充実に向けての指導・助言

NEW 国語：一宮小、算数：潮江南小

#### 実践研究協働校事業

★学習指導要領に基づく実践研究  
実践研究の可視化データベース化等

潮江東小

◇教育課程推進専門官・指導主事等による訪問指導。

#### 7 高知の授業の未来を創る推進プロジェクト

★資質・能力の育成を目指す授業づくりに積極的に取り組む学校を対象に、教材分析や授業研究についての指導・助言

国語拠点校：初月小・城西中

社会拠点校：旭中

算数・数学拠点校：横浜新町小・一宮中

理科拠点校：城東中

英語拠点校：土佐山学舎（前期・後期）

道徳拠点校：介良中

#### 授業づくり講座

#### 6 授業改善プランに基づく学校訪問（国・社・数・理・英）

★学力調査等で明らかとなった課題解決、資質・能力の育成を目指した組織的、計画的な授業改善の一層の充実を目指した授業づくり等への訪問指導。

中・義務教育学校

◇指導主事等による訪問

年間2回以上×5教科×19校

#### 9 小学校英語専科指導に係る指定事業

★専科教員による専門性を生かした授業実践及びその普及に向けた訪問指導

配置校（5校）

泰小、初月小、鴨田小、朝倉第二小、神田小

#### 10 英語教育強化推進事業

★学習指導要領の趣旨に沿った外国語教育の具現化に向けて、各学校では組織的な取組や研究を通じた授業改善を推進する。

拠点校（小中3校）

：久重小、西部中、土佐山学舎

強化校（小11校）

：第六小、旭小、旭東小、浦戸小、五台山小、高須小、布師田小、一ツ橋小、潮江南小、十津小、横浜新町小

強化校（中・義5校）：愛宕中、青柳中、横浜中、鏡中、行川学園

課題解決に向けた資料の提供

#### 各資料等の効果的な活用

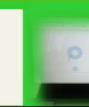
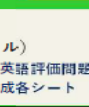
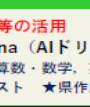
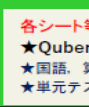
「学びの羅針盤」

NEW 「学びの羅針盤DX」

「MATHハンドブック」

「資質・能力の育成を目指した 国語科学習指導案集」

「英語実践紹介」 各教科等参考資料 等



#### 各シート等の活用

★Qubena（AIドリル）

★国語、算数・数学、英語評価問題


★単元テスト ★景作成各シート 等


1人1台端末の“課題型持ち帰り”



 「学び方」を身に付けるための授業研究

学び方を選択し，自己決定，自己調整



 授業改善についての取組



## 令和の日本型学校教育

- 子供が自らの学習の状況を把握し、**主体的に**学習を調整することができるよう促す
- **子供自身**が学習が最適となるよう調整する
- **異なる考え方が**組み合わせさり、よりよい学びを生み出す

## 目指す授業のイメージ

スタート



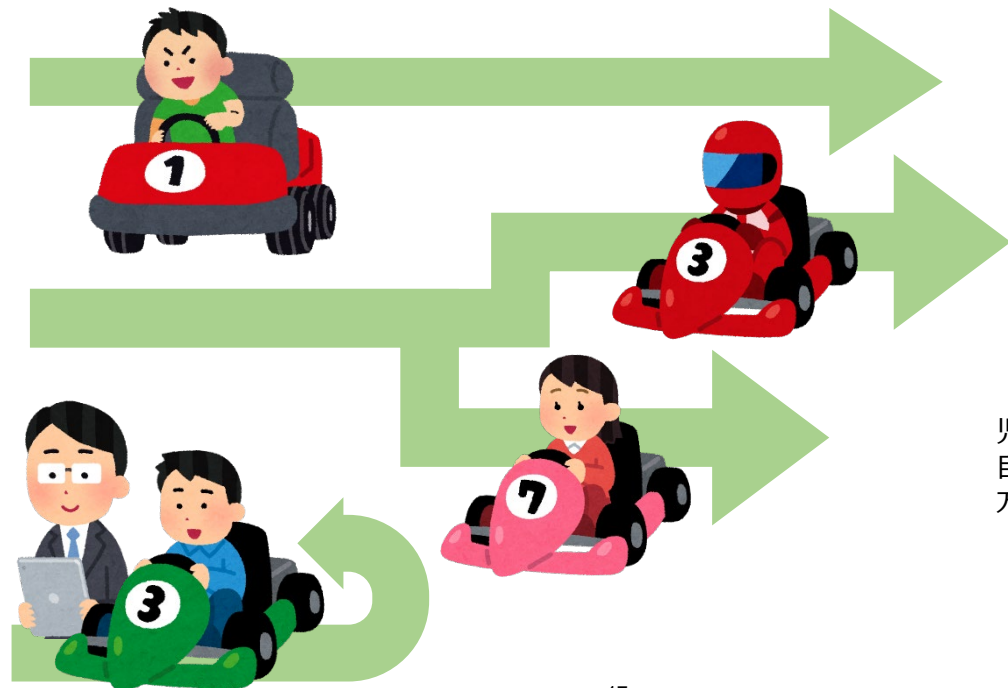
ゴール

単線型の授業

教師がハンドルを握り、教師が考えたコースを教師のペースで進む（児童生徒は？）

複線型の授業

スタート



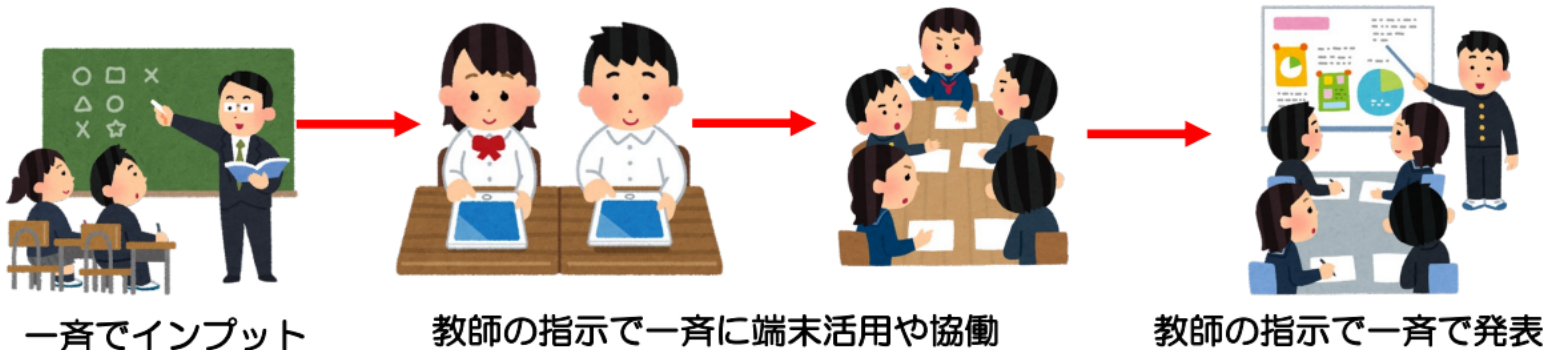
ゴール

児童生徒一人一人が自らハンドルを握り、自分で考え、自分のペースで、他者の行き方を参照しながらゴールをめざす

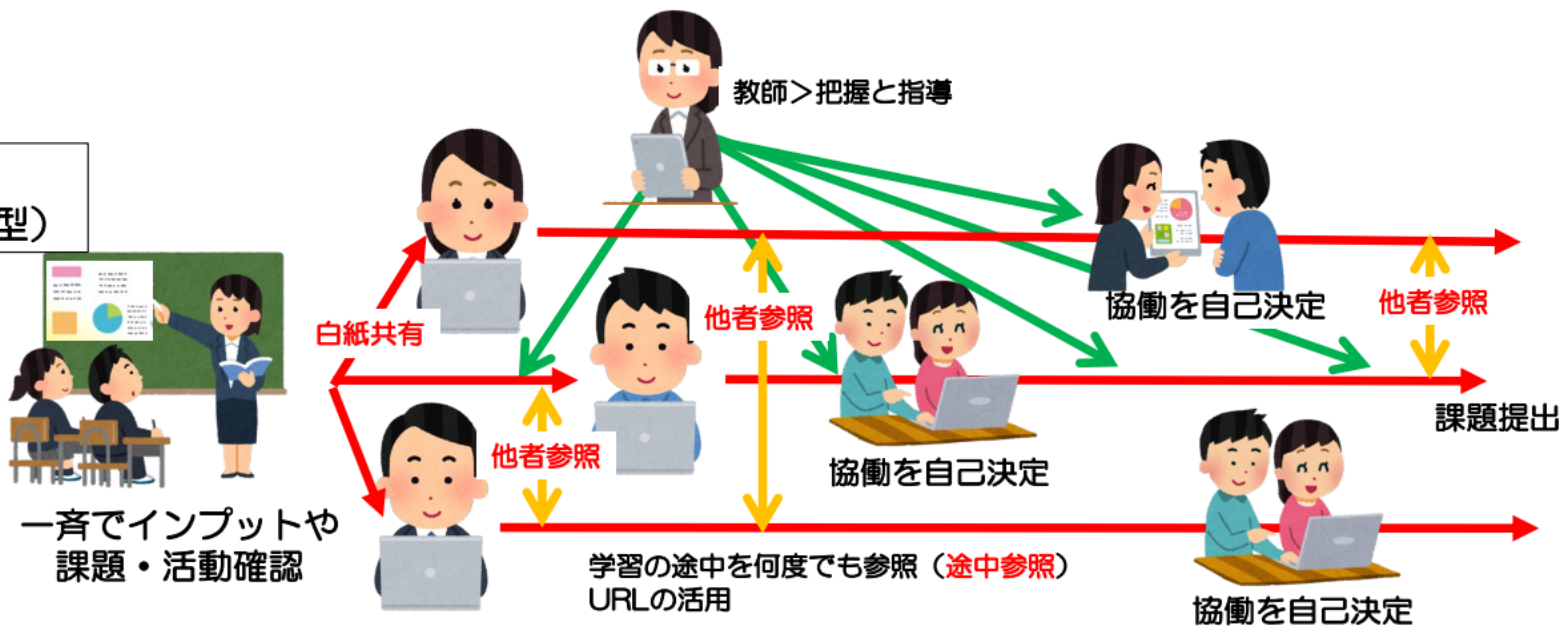
## 単線型（従来型）と複線型（クラウド活用型）の授業展開の例

東京学芸大学教育学部教授 高橋 純  
日本教育工学会研究報告集「1人1台端末を活用した高質な資質・能力の育成のための授業に関する検討」から引用)

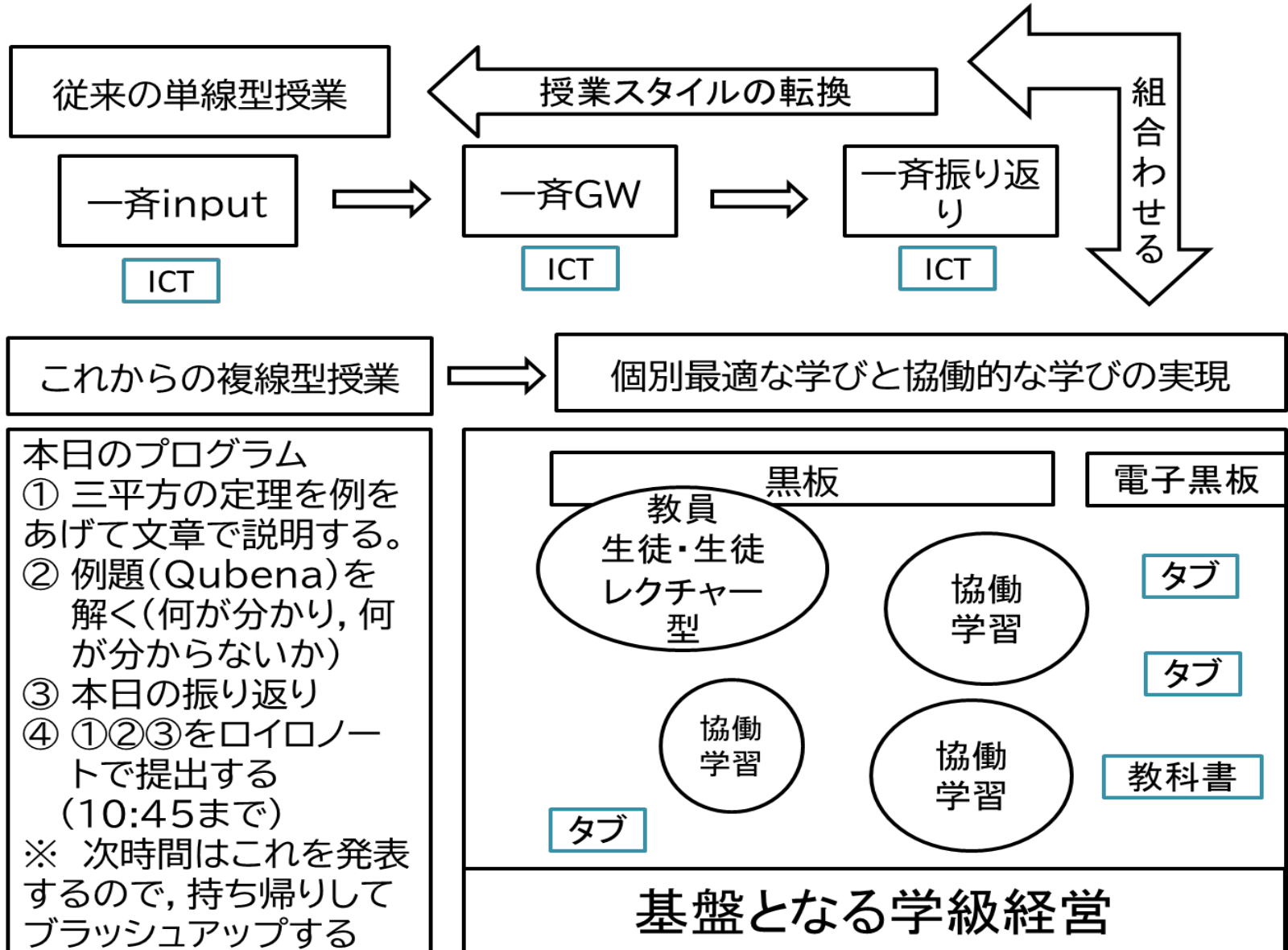
### 単線型 (従来型)



### 複線型 (クラウド活用型)



## 高知市教育委員会が学校訪問を行う際に提示している資料



# 授業実践の紹介



昭和小学校の授業のようす  
授業と家庭学習の接続・往還

浦戸小学校の授業のようす  
学習者主体の授業づくり

初月小学校の取組のようす  
タイピングのスキル向上の取組

春野中学校の授業のようす  
AI型デジタルドリルを活用した授業の展開